

## 小3国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読みとり 86.3%

**ねらい**：漢字の正しい読みができるかを問う。

**分析と対策**：漢字を覚えるときには、音読みと訓読み、その送りがなを覚え、漢字の意味とその意味の熟語を合わせて覚えましょう。

### 2 漢字の書きとり 57.5%

**ねらい**：漢字の正しい書きができるかを問う。

**分析と対策**：正しく書けるように、熟語と漢字の意味もふまえて覚えましょう。「登」のように細かい部分をまちがえやすい漢字は、特に注意しましょう。

### 3 送りがな 78.8%

**ねらい**：漢字の送りがなについての理かきを問う。

**分析と対策**：送りがなのきまりとして、言葉の一部が変わるものは、ふつう変わる部分から送るのが原則です。そのほかにいくつかルールがあるので覚えておくとよいでしょう。①「しい」で終わる形容詞は、「し」から送る。②「か・やか・らか」で終わる形容動詞は「か・やか・らか」から送る。③ほかの読み方と区別するために一つよけいに送る。送りがなは、漢字を覚えるときに合わせて覚えましょう。

### 4 こそあどことば 88.8%

**ねらい**：こそあどことばを正しく理かし、使い分けられるかを問う。

**分析と対策**：こそあどことばは、話し手や聞き手からの距離によって、また、場所を指す場合、ものを指す場合、人を指す場合、様子を表す場合によって、使い分けをする必要があります。こそ

あどことばにどのような種類があるかを覚え、使い分けましょう。

### 5 主語とじゅつ語 75.0%

**ねらい**：文の中の「主語」や「述語」についての知識を問う。

**分析と対策**：文には、「何が—どうする」「何が—どんなだ」「何が—なんだ」の型があります。まずはその文の述語をさがし、「何が」にあたる主語をとらえましょう。

### 6 詩の読みとり 35.4%

**ねらい**：詩の世界を味わいつつ、かかれています内容を把握できているかを問う。

**分析と対策**：解説文も活用して、内容をとらえましょう。この詩は「もの」と「りくつ」について、「もの」が「さき」だという作者の思いが、⑬～⑯行目で言葉の順番を入れかえることで、強調されています。

### 7 物語の読みとり 43.9%

**ねらい**：場面を想像し、登場人物の心情を読み取れるかを問う。

**分析と対策**：星が好きな二郎の、ひとりで星を見ながら庭でふとんをしいてねることになった心情を読みとることが中心になります。二郎とおかあさんの気持ちのちがいが、言動や考え方に表れています。二郎の行動や発言に着目して、行動や発言の理由をたしかめながら文章を読み進めましょう。(1)は二郎の心情の理由を読みとる問題です。(6)は二郎が感じたことを読みとる問題です。

全体の平均点は57.6点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。